

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年1月27日（金）
- 2 確認箇所
絶縁油タンクエリア（Dタンクエリア西側）
- 3 確認項目
絶縁油タンク下部からの油の漏えい

4 確認結果の概要

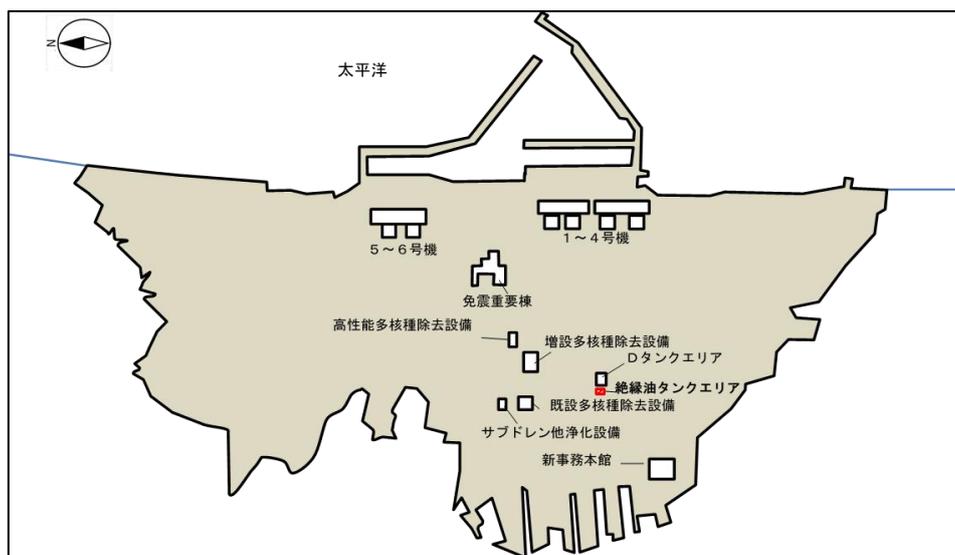
本日午前9時38分に絶縁油タンクエリアの電気絶縁油タンク油面計の元弁フランジ部から、低濃度PCB*を含む絶縁油（以下「油」という。）が堰内に漏えいしていることを確認したとの通報を受けたため、現場の状況を確認した。（図1）（写真1）

なお、当該エリアには電気絶縁油タンク（各25kL）が計10基設置されている。

- ・現場確認時、No.4及び5の電気絶縁油タンクから油が漏えいしており、エリア内では東京電力職員が、油の漏えい箇所にテープの養生や吸着マットを設置するなど、油漏えい拡大防止措置を実施していた。（写真2）
- ・堰内には排水枘が2箇所設置されているが、排水弁は共に「閉」となっており、排水路や周囲への油の漏えいは発生していなかった。（写真3）
- ・油の漏えいが発生していない他のタンクについては、油面計元弁の閉操作が実施されていた（通常は開運用）。（写真4）
- ・東京電力では、漏えいした油を回収し、原因調査のうえ、適切に再発防止対策を講じるとしている。

なお、翌日（1月28日）、漏えいした油約20kLの回収が完了したと報告を受けている。

※ PCB（ポリ塩化ビフェニル） 化学的に安定しており、絶縁性に優れている化合物であり、人体への毒性や環境への残留性が問題となり、1972年以降生産が中止されている。



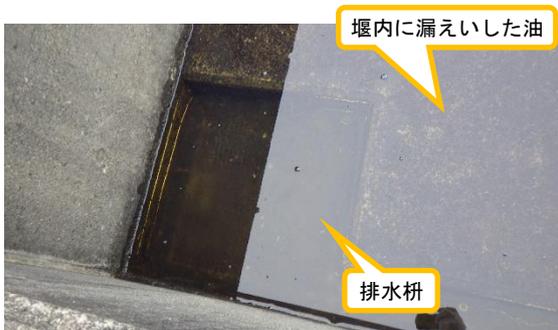
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
絶縁油タンクエリアの概観



(写真2)
油漏えい拡大防止対策の実施状況



(写真3-1)
堰の排水柵の状況



(写真3-2)
堰の排水弁の状況



(写真4)
油面計元弁の閉操作実施の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。